
サンタホイホイのサンタさん。

福耳の犬

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サンタホイホイのサンタさん。

【Nコード】

N7184I

【作者名】

福耳の犬

【あらすじ】

悪知恵働く男の子、サンタホイホイを仕掛けました。サンタホイホイに捕まったサンタさん。どうなるの？

(前書き)

もしサンタさんがいたのなら・・・

独り占めになりたいな・・・プレゼント

僕の家はイントツあるお家。イントツにはネバネバテープを貼って

12月のクリスマスの日にはサンタさんを捕まえるんだ。とうとうや
つてきたクリスマスの日に

イントツに入ったサンタさん、ネバネバテープにくつついて動けな
くなっちゃった。

もがいても・もがいても動けないサンタさん、困ったけれど動けな
い。なんとか赤い服を脱ぎ捨てて

ネバネバテープから逃げ出した。寒い真冬の夜の空、素っ裸のサン
タさん。冷えてお鼻はまっかつか。

くつついていないおもちゃを取り返し急いで世界の人達に配り出す。

世界の人に配るプレゼント。今年は数が足りなくて、小さな子供か
ら配り出す。

サンタさんは考える。ネバネバテープの男の子、今年で12歳にな
ったトコ。いろいろ悪さを

考える。次の年からサンタさん、小さな子供たちだけにプレゼント
をあげる事に決めました。

そんな事件があったからサンタさんのプレゼント、大人は貰えなく
なりました。

ネバネバテープの男の子。クリスマスの朝に飛び起きて、直ぐにサ
ンタホイホイ見てみたら

赤い服にプレゼント、いっぱいテープについでいた。

オワリ

(後書き)

絵本にしたいな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7184i/>

サンタホイホイのサンタさん。

2010年10月9日06時26分発行